

## 7月9日（火）10日（水）図書委員が「出張読み聞かせ」を行いました。

楽しい本を手に取り、好きな本を紹介したり、語り合ったり、読み聞かせをするなどして地域での読書活動が広がり、子どもたちが心豊かに成長してくれることを願っています。

鶴見中学校 図書館司書教諭 荻原博子



7月9日（火）豊岡小学校3年生、7月10日（水）鶴見小学校1年生で鶴見中学校図書委員会3年生が出張読み聞かせを行いました。鶴見中学校図書委員会では、やりたい企画として小学校への読み聞かせという案があり、初めて今年度から小学校への「出張読み聞かせ」を実現させることができました。

「出張読み聞かせ」に手をあげたのはすべて3年生の男女10人。期末テスト後の3週間、声の大きさや表現、めくり方など、それぞれが友達に読み聞かせをしたり、図書担当の先生に聞いてもらったりなどして熱心に練習しました。中学校図書館には絵本が少ないため、鶴見図書館に相談し、小学校にはなさそうでおもしろそうな絵本をお借りし、その中からそれぞれ小学生に読みたい本を選ぶなど工夫を重ね本番を迎えました。

豊岡小学校と鶴見小学校の児童たちは、鶴見中学校のお兄さんお姉さんがどんな本を持ってきて読んでくれるのか興味津々で、食い入るように聞いていました。特に小学1年生のクラスではページをめくるたびに声上がるなど、とても楽しんでいる様子でした。読み聞かせをした図書委員は緊張したようでしたが、練習の成果を十分に発揮しました。

読み聞かせの後、小学生からとても「聞きやすかった！」「おもしろかった！」などと感想をもらいました。また、読み聞かせをした中学生も、この体験を通して小学生に本を楽しんでもらえたことにとっても満足し、とても貴重な経験をしたと語りこのような機会を図書委員の活動として続けていきたいとも語っていました。